

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		博士課程教育リーディングプログラム		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度・平成31年度		担当課室	大学振興課大学改革推進室		大学振興課長 池田 貴城		
会計区分		一般会計		施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定) グローバル化社会の大学院教育(平成23年1月31日中央教育審議会答申)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		○明確な人材育成像を設定し、博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築。 ○国内外の多様なセクターから第一級の教員・学生を結集した密接な指導体制による独創的な教育研究を実施。 ○世界に先駆け解決すべき人類社会の課題に基づき、産・学・官がプログラムの企画段階から参画。国際性、実践性を備えた研究訓練を行う教育プログラムを実施。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	-	-	3,903	11,608	19,919	
			補正予算	-	-	0	0		
			繰越し等	-	-	△ 357	357		
			計	-	-	3,546	11,965	19,919	
		執行額				3,384			
執行率(%)				95.4%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (31年度)
		博士課程教育リーディングプログラム修了者の就職率		成果実績	%	-	-	-	100
				達成度	%	-	-	-	
		全国における理系博士課程修了者の就職率(新成長戦略の工程表に、「理系博士課程修了者の完全雇用」と明記)		成果実績	%	-	-	今年度調査予定	100
				達成度	%	-	-	今年度調査予定	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		プログラムの採択件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	20	-
						-	(-)	(-)	(20以上)
		博士課程教育リーディングプログラムの修了者数		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	-
						-	(-)	(-)	(-)
		博士課程教育リーディングプログラム対象学生の国内企業へのインターンシップ派遣導入プログラム数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	今年度調査予定	(前年度以上)
				-	(-)	(-)	(前年度以上)		
博士課程教育リーディングプログラム対象学生の海外大学、企業、国際機関等への派遣導入プログラム数		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	今年度調査予定	(前年度以上)		
				-	(-)	(-)	(前年度以上)		
採択プログラムのうち、Qualifying Exam(博士論文作成に必要な基礎能力の審査)の導入プログラム数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	今年度調査予定	(前年度以上)		
				-	(-)	(-)	(前年度以上)		
単位当たりコスト		166,600(千円/件)		算出根拠	単位当たりコスト =23年度予算額(3,332,000千円)÷採択件数(20件)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	リーディング大学院構築事業費	11,550百万円	19,850百万円	新規採択による要求額の増					
	審査等経費	55百万円	67百万円	日本再生戦略に関する「重点要求」 4,450百万円					
	大学改革推進等補助金事務費	3百万円	2百万円						
	計	11,608百万円	19,919百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・本事業は、「新成長戦略(平成22年6月閣議決定)」や「グローバル化社会の大学院教育(平成23年1月中央教育審議会答申)」を踏まえ、広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーを養成するための大学院教育の抜本的改革を支援するものであり、国が実施すべき優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・本事業は、公募した上で、有識者からなる委員会による公平な審査を経て選定しており、その妥当性や競争性を確保している。 ・補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認するなど、コスト削減に努めるとともに、経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国公立大学を通じた競争的環境の下、明確な改革構想に基づく学位プログラムの構築・卓越性等を有するプログラムを選定・支援しており、実効性の高い事業となっている。 当該事業は、「新成長戦略(平成22年6月閣議決定)」の工程表に基づき、全国における理系博士課程修了の就職率といった定量的な目標値を設定した上で実施しており、当該目標値に対する達成度の把握を行い、着実な向上に向けて実施している。 本事業における成果等のHPへの掲載等を通じて活用の促進を図っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>・事業仕分け第3弾の評価結果を踏まえ、事業のビジョンを明確化し、制度改正等の各種施策を通じてリーディング大学院の形成を図るものに見直しして平成23年度から実施している。</p> <p>・採択されたプログラムに対し、毎年進捗状況等のフォローアップを行っている。</p> <p>・補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認するなど、コスト削減に努めるとともに、経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。</p> <p>・本事業により、俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーが養成される。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、博士課程前期・後期一貫した学位プログラムの構築、独創的な教育研究の実施、国際性、実践性を備えた研究訓練を行う教育プログラムの実施を行う事業であり、事業成果等の観点から検証を行う。</p> <p>2. 所見：本事業は、過去の事業仕分けの評価を踏まえ、平成24年度当初予算で既に予算の縮減を図ったところであるが、引き続き、計画に基づいた適切な予算執行に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	<p>採択されたプログラムに対し、毎年進捗状況等のフォローアップを実施するとともに、第三者委員会における中間評価を実施し、その評価結果を補助金の配分に反映しメリハリのある補助を行う予定。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○事業仕分け第3弾 〈事業番号/事業名〉 A-25(2) 博士課程教育リーディングプログラム 〈結果〉 見直しを要する 〈とりまとめコメント〉 博士課程教育リーディングプログラムについては、全員が見直しを要するというところである。そこに書いてあるコメントの趣旨はおおむねふたつ。ひとつは、リーディング大学院を作っていくというためのそのビジョンの方が先であって、その絵が描けた上で実行するために予算が必要であるという順番だが、その点はまだ示されていない。どういった大学院改革・博士課程改革をするのかということがまず示されなければならない。それとの関連の中で初めて予算の話が出てくる。もうひとつはグローバルCOEプログラムにも言えることだが、国立大学であれば運営費交付金、私立大学であれば私学助成の中でやるべきことが、博士課程教育リーディングプログラムで特別枠要望されているのではないかと。運営費交付金や私学助成の予算が増やせるかどうかは全体としての議論があるが、本来、そういった形でやるべきことを、別途の形で支援することは避けるべきである。というこのふたつの理由により、見直しを要するという結論とした。十分理解していただいていると思うが、評価者みんなが、大学院・大学がしっかりととっと良くなることを期待している。</p> <p>○事業URL http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/index.htm</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0022

文部科学省
3,385百万円

諸謝金 1.5百万円
職員旅費 0.2百万円
委員等旅費 0.8百万円
庁費 0.6百万円 } を含む

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援。

【公募・補助】

A. 大学(12大学20件)
3,332百万円

大学において、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を推進。

【公募・補助】

B. (独)日本学術振興会
50百万円

博士課程教育リーディングプログラムの審査・評価等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

A.東京工業大学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品費	先端エネルギー材料分析装置一式等	430			
旅費	国内旅費、海外旅費、外国人招聘旅費等	64			
その他	印刷製本費、会議費、通信運搬費等	52			
人件費・謝金	特任教員、事務補佐員、講演謝金等	23			
計		569	計		0
B.(独)日本学術振興会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費・謝金	委員手当、事務担当職員、派遣職員	20			
会場費	審査等に係る会場借料	11			
印刷製本費	審査等に係る印刷製本費	7			
旅費	委員会出席旅費等	6			
その他	通信運搬費等	6			
計		50	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 博士課程教育リーディングプログラム

* 補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京工業大学	「環境エネルギー協創教育院」外2件のプログラムを実施	569	—	—
2	慶應義塾大学	「超成熟社会発展のサイエンス」外1件のプログラムを実施	489	—	—
3	東京大学	「サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム」外2件のプログラムを実施	462	—	—
4	京都大学	「京都大学大学院思修館」外1件のプログラムを実施	422	—	—
5	大阪大学	「超域イノベーション博士課程プログラム」外1件のプログラムを実施	383	—	—
6	広島大学	「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー養成プログラム」を実施	213	—	—
7	名古屋大学	「グリーン自然科学国際教育研究プログラム」外1件のプログラムを実施	179	—	—
8	兵庫県立大学	「フotonサイエンスが拓く次世代ピコバイオロジー」を実施	172	—	—
9	群馬大学	「重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム」を実施	162	—	—
10	北海道大学	「One Healthに貢献する獣医学グローバルリーダー育成プログラム」を実施	156	—	—

B. 審査・評価等業務

* 補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本学術振興会	審査・評価業務を実施	50	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					